

笑える発見 世界を変える!?

名前由来
Ig + Nobel
反対のノーベル賞
【イグ・ノーベル(不名誉な)にもかけている】

公式マスコット
「スティンカー」
ロダン彫刻
「可笑し人(シンカー)」
の「バロチー」

日本人が11年連続で受賞

「股のそき」で
風景が平面的に見える仕組み

通常の見え方

「股のそき」の見え方

実際の位置

近くものは
そのまま、隠れる

遠くものは
小さく、歪む



日本常連 イグ・ノーベル賞

誰か
世の人が
メンバー

2017年も日本人が受賞...!
この人がやんなきゃ誰も
やんなさうな研究...
でも ちょっと 笑えて、
何だか考えさせられる研究...
受賞した研究名の一覧を
見るだけで何だかツワツワ
してきます!
ちょっとした発見が
遠い未来の大発見につながるかも...?
今週の担当 大伴でした。

■ 話題性 本家しのぶ年も

イグ・ノーベル賞は、毎年10月6日に授けられる。その歴史は1991年に始まる。この賞は、ノーベル賞の真逆で、笑いや皮肉を誘ふ研究に贈られる。受賞者は、その年のイグ・ノーベル賞の発表式で、ロダン彫刻「可笑し人(シンカー)」の「バロチー」を背負って登場する。この賞は、ノーベル賞の真逆で、笑いや皮肉を誘ふ研究に贈られる。受賞者は、その年のイグ・ノーベル賞の発表式で、ロダン彫刻「可笑し人(シンカー)」の「バロチー」を背負って登場する。

「日本の研究界」として、奇人・変人という呼称は、一層の注目を集めた。社会現象である。ある意味、自由な研究の場を確保している。2017年の生物学賞は、花の雄蕊の着生位置に関する研究(田代純一)が、日本最大のイグ・ノーベル賞を受賞した。この研究は、雄蕊の着生位置に関する研究(田代純一)が、日本最大のイグ・ノーベル賞を受賞した。この研究は、雄蕊の着生位置に関する研究(田代純一)が、日本最大のイグ・ノーベル賞を受賞した。

■ 「奇人・変人」は褒め言葉

「日本の研究界」として、奇人・変人という呼称は、一層の注目を集めた。社会現象である。ある意味、自由な研究の場を確保している。2017年の生物学賞は、花の雄蕊の着生位置に関する研究(田代純一)が、日本最大のイグ・ノーベル賞を受賞した。この研究は、雄蕊の着生位置に関する研究(田代純一)が、日本最大のイグ・ノーベル賞を受賞した。

「日本の研究界」として、奇人・変人という呼称は、一層の注目を集めた。社会現象である。ある意味、自由な研究の場を確保している。2017年の生物学賞は、花の雄蕊の着生位置に関する研究(田代純一)が、日本最大のイグ・ノーベル賞を受賞した。この研究は、雄蕊の着生位置に関する研究(田代純一)が、日本最大のイグ・ノーベル賞を受賞した。

トリカヘチャタテ シラミに似た昆虫であるチャタテムシの一種。ブラジルの洞窟に住み、体長約3ミリの。雌がオスより大きな交尾器を持ち、交尾の際に雄に挿入する。1回の交尾は40~70時間続く。名前は、平安時代の宮中舞臺に男女が性別を入れ替えて舞らす様子で、とりかへばや物語にちなむ。約5000個のチャタテムシのうち、交尾器が逆転したトリカヘチャタテの仲間は4種が知られている。